



平成23年2月18日(金)
(舞台セットに関すること)
財団法人愛知県文化振興事業団
事業課音楽事業担当 船戸・大脇
電話：052-971-5609 内線 724-474
(トリエンナーレに関すること)
愛知県県民生活部文化芸術課
国際芸術祭推進室事業G
担当：中野(充)・山口
電話：052-971-6124 内線 724-691

あいちトリエンナーレ2010 プロデュースオペラ「ホフマン物語」が スロベニア国立マリボール劇場で再演されることになりました！

愛知県芸術劇場大ホールで上演したオペラ「ホフマン物語」を、スロベニア共和国のマリボール劇場で、当該舞台セットを使用し栗國淳の演出により再演することについて、あいちトリエンナーレ実行委員会とマリボール劇場が合意しました。

マリボール劇場は、上演にあたってチラシ・ポスター・プログラムなどの広報物に、「世界初演(ワールド・プレミア)はあいちトリエンナーレ2010、愛知県芸術劇場」と明記することを確約しています。

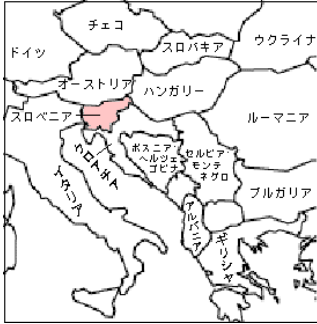
日本で制作した舞台セットを用い、日本人演出家による海外の歌劇場のシーズンプログラムとして上演されることは、日本オペラ史上極めてまれなケースで、第1回目のあいちトリエンナーレの成果を物語る大きな実績となり、愛知の芸術文化の水準の高さを、世界に発信する絶好の機会となります。

1 再上演の日程

マリボール劇場の来シーズンの幕開けである**2011年9月30日**から7公演が予定されています。あいちトリエンナーレで制作した舞台セット(舞台美術:横田あつみ)を使用して、その時の演出家である栗國淳が演出をします。指揮者やキャストはマリボール劇場が決定します。

2 マリボール劇場について

1919年に設立されたスロベニア共和国の第2の都市マリボール市にある国立劇場(Slovensko narodno gledališče Maribor)。演劇・オペラ・バレエを年間を通じて上演している。客席数約900席の中規模の劇場で、大道具・小道具・衣裳・靴などの工房も抱えたヨーロッパ型の劇場。演劇・オペラ・バレエでニュープロダクションも含め、年間約500公演を上演し、約20万人の観客を動員しています。2007年に初の来日公演を果たし話題を呼びました。本年6月にもオペラ公演の来日が予定されています。



©Yasuko Kageyama

●今回のマリボール劇場での上演で期待できること！

①「あいちトリエンナーレ2010」の素晴らしさを世界に発信！

世界各国から芸術家が集い、日本全国から鑑賞者が来場した「あいちトリエンナーレ2010」を、さらに世界にアピールすることができる機会です。また、第2回目の開催に向けて、その知名度の向上に貢献します。

② 愛知の文化芸術の水準の高さを世界に発信！

愛知を経済だけでなく、文化芸術においても欧米にひけをとらない都市にするため、このホールの特徴を活かし、愛知県の自主事業として財団法人愛知県文化振興事業団がオペラを制作してまいりました。その成果のひとつとして、あいちトリエンナーレ2010で上演するために企画・制作した「ホフマン物語」はその水準の高さが各方面から絶賛され、今回ヨーロッパへ逆輸出することになりました。

③ 国際的な文化交流！

マリボール劇場は、設立以来その芸術的創造性が高く評価されている劇場です。またマリボール市は、2012年の欧州文化首都*の開催都市として選ばれていることから、今まで交流のなかったスロベニア共和国という国を足がかりに、ヨーロッパ各国に愛知の名前を発信することができ、今後、愛知県とヨーロッパ各都市との文化交流への広がりが期待できます。

*欧州文化首都とは

欧州連合（EU）の真の統合を図る目的で、当時のギリシャ文化大臣メリナ・メリクーリが提唱し、1985年に発足した欧州随一の文化事業。欧州連合理事会で開催都市が決定され、選ばれた都市では1年の間、年間を通じて卓越した文化事業を行うこととされている。

※あいちトリエンナーレ2010プロデュースオペラ「ホフマン物語」の舞台セット



写真：中川幸作



写真：中川幸作